

スポーツ振興特別委員会

- 1 開催日時 平成 29 年 3 月 15 日（水） 10 時 00 分～12 時 55 分
- 2 開催場所 第四委員会室
- 3 説明員 県民生活部長、教育長および関係職員
- 4 議事の概要

- 1 新県立体育館施設整備基本計画（案）について

委員からは、PFI方式で事業を進めることを決定した県の対応について、最初から規定路線で物事を進めるのではなく、まずはPFI方式のメリットを明確に打ち出した上で、もっと早い段階で県の方向性を示すべきではなかったのか、パブリックコメントで出された意見について、利用者人数など整備計画の根幹にかかわる部分については、県独自の計算を行った上で、しっかりとした根拠に基づき回答すべきである、などの意見が出された。

- 2 第 79 回国民体育大会 市町競技施設整備費補助金の概要について

- 3 第 79 回国民体育大会 市町の競技会運営費に対する支援の考え方について

委員からは、施設整備や運営費に係る補助といったお金に係る部分と、会場地がまだ決まっていない競技種目に係る市町とのマッチングの部分について、ある程度同じスケジュールで進めていくほうが誤解を招かないと思われるので、双方にタイムラグが生じないよう留意の上、調整等を進めていただきたい、などの意見が出された。

- 4 第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会にかかる概算事業費等の状況について

委員からは、（仮称）彦根総合運動公園の整備について、土地の整備に当たって、地盤を安定させるため、多額の経費を要する地盤改良を行うとのことだが、このような土地を選定した県の責任を真摯に受け止め対応されたい、琵琶湖漕艇場の整備について、改修の場合、新築と比べて必要経費の予測が難しく、経費の増大が懸念されることから、予め全体経費の枠を決めた上で整備方針の検討を行うべきである、琵琶湖を有する本県にとって、ボート競技が象徴的な種目であることに鑑み、より投資効果の高い新築での整備手法についても検討されたい、などの意見が出された。

5 スポーツ推進施策について

委員からは、本県のスポーツ施策の推進に当たって、県体育協会や各競技団体など、教育関係者の方々のマンパワーに頼っている部分が多々あることに鑑み、国体開催に向けた競技力の向上やトップアスリートの育成などの取り組みについて、県民生活部と教育委員会がより連携を密にして取り組まれるよう求める、などの意見が出された。

6 平成 28 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

委員からは、小学校 5 年生の女子の結果は全国と比べて低すぎると思うので、これを危機的な状況と捉えて、保育園や幼稚園から小学校へ繋がるような系統立てた取り組みによって、運動の好きな子供をふやしていただきたい、などの意見が出された。



委員会に配付された資料

- 1 新県立体育館施設整備基本計画（案）について
- 2 第 79 回国民体育大会 市町競技施設整備費補助金の概要について
- 3 第 79 回国民体育大会 市町の競技会運営費に対する支援の考え方について
- 4 第 79 回国民体育大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会にかかる概算事業費等の状況について
- 5 スポーツ推進施策について
- 6 平成 28 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について